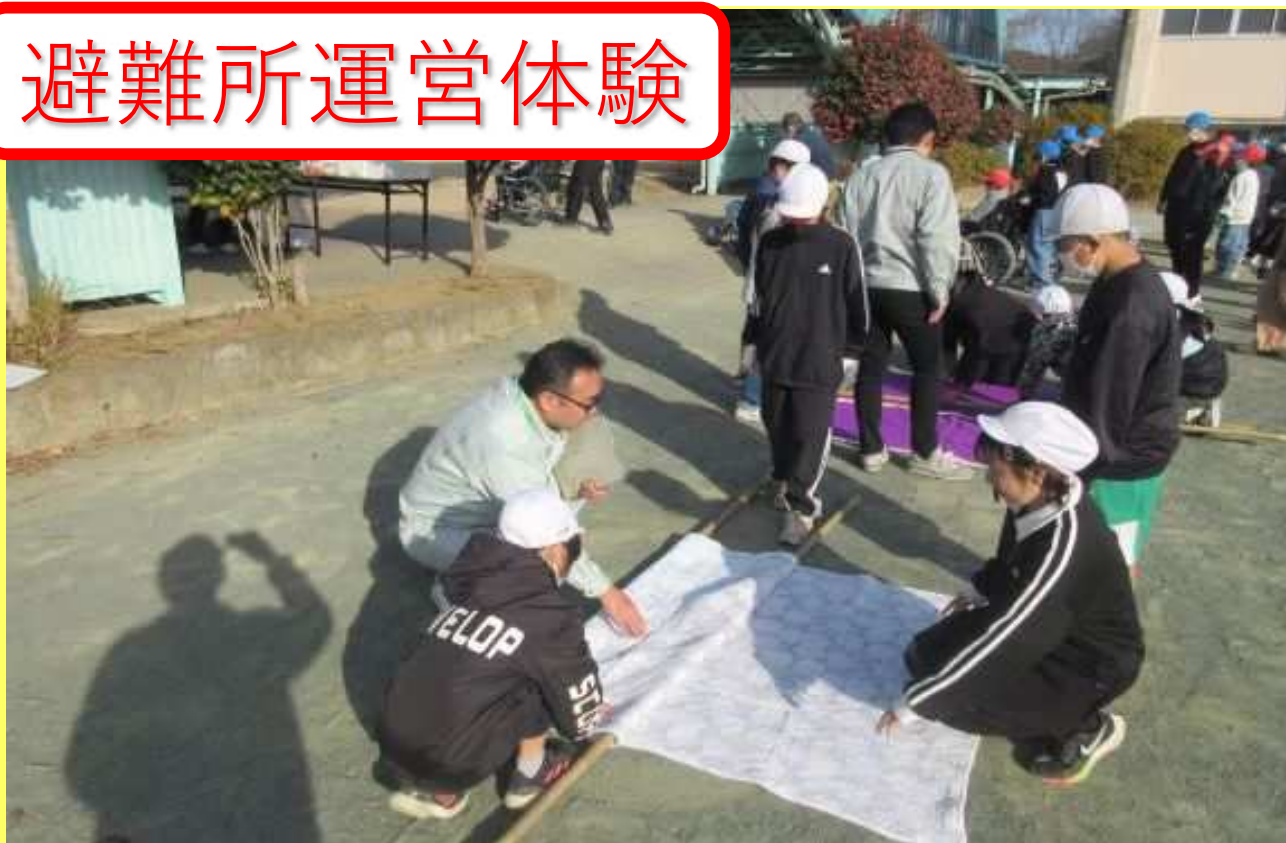


令和 6 年度

みょうかく

ときがわ町立明覚小学校

避難所運営体験



特 色

- 山間部の学区内には河川が流れており、洪水・土砂災害の危険のある地区であることから、小学生であっても自助力・共助力を高め、中学生とともに「地域の人材」の一人として活動できる資質、能力、態度を養うことを目的としている。
- 町の防災担当課や地域等と連携し、被災時における避難所生活について、電気やガスが使用できない状況下での炊き出しによる食事作りや傷病者の移動介助体験等に取り組む。

児童の感想

- 日ごろから、避難訓練をしっかり受けておくことが大切だと思います。もし災害が起こったときは、今日の経験を活かしたいです。
- 最初に声かけすることが大切だと思います。その人の状態を知ってから、自分にできることを考え行動することも大切だと思います。

成 果

- 簡易担架や車椅子を使用した移動介助体験や、炊き出しによるおにぎり作り体験を通して、被災時に必要な知識や技能の一端が身に付き、自助力・共助力に対する意識の高まりが感じられた。「地域の人材」の一人として活動できるようさらなる工夫を重ねたい。